



澄みきった青空のもとで

接戦のレースが展開

前日までの雨模様とはうって違って10月10日「体育の日」は、澄みきった青空が広がり絶好の体育日和となりました。町では鷹巣競技場を中心に、フリーマラソン、歩こう会が行われ150人が参加して、さわやかな汗を流していました。また恒例の町民駅伝大会には、青年、職場、壮年一部、二部に19チームが参加。刈り入れに忙しい田園をあとに、接戦のレース展開となりました。（関連記事は次回号に記載します）

人口と世帯数

（住民基本台帳による）

9月30日現在		（前月比）	
総人口	25,029人	（4人減）	
（出生	18人	転入	53人）
（死亡	19人	転出	56人）
男	12,187人	（2人減）	
女	12,842人	（2人減）	
世帯数	7,292世帯	（12世帯減）	

9月定例町議会

西南
小

ストロブにきり替える

町史編さん費も予算計上

六十年九月定例町議会は、九月十三日から二十一日まで九日間の会期で開催されました。一般会計では町史編さん費やテクノサテライト計画策定費など、そのほか特別会計や町道認定などの議案を審議、可決して閉会しました。決定した内容は次のとおりです。

一般会計

二億三七七万円余り補正

災害復旧に八千九百万円

一般会計は、歳入歳出予算の総額に、それぞれ二億三千七百七十七万四千円を追加し、総額五十億四千六百六十五万四千円となりました。

主なものは、町史編さん費、広域救急医療対策事業補助金、テクノサテライト計画策定費、街道町農事改良総合共同作業所改築補助金、道路新設改良費、防火水槽新設工事、小学校石油ストーブ購入費、農業災害復旧費などです。

補正の概要は次のとおりです。
〔歳入〕

日中の友好青年交流に補助

▽議会費
千円を追加。
▽総務費
千二百六十万九千九百円を追加。主なものは職員の旅費および厚生費補助百六十七万七千円、庁舎等整備工事六十万七千円、

町史編さん費五百万円、日中友好青年交流ほか海外研修補助二百二十八万八千円、統計調査費十八万円などです。

▽民生費
四百五十八万五千円を追加。主なものは中国残留孤児帰国関係費三十八万七千円、精神薄弱者福祉ホーム建設補助金（よしの寮）、痴呆老人居室整備費補助金（青山荘）、児童福祉費百六十九万八千円など。

農事組合共同作業場改築に

▽衛生費
九十五万円を追加。業補助金の九十五万円を追加。

千円を追加。主なものは、坊沢街道町農事改良組合共同作業場改築費補助金二百九十万円、農用地高度利用促進活動費七十三万七千円、地域農業整備促進事業費百三十七万八千円、糠沢開拓

地農道測量委託百五十万円、小田向橋農道橋架補補助金四十万円、鷹巣西排水路特別対策事業負担金百六十四万二千円、綴子農免期成同盟補助金五十万円、森林組合出資金五百万円、林道大摩当線改良工事二百万円、町有林保育工事（間伐、枝打）百八万円

▽商工費
百七十七万円を追加。主なものは町史編さん費五百万円、日中友好青年交流ほか海外研修補助二百二十八万八千円、統計調査費十八万円などです。

▽土木費
八千九百二十九万九千円を追加。主なものは道路維持費（緊急地方法道整備事業）舗装補修工事）千四百万円、道路新設改良費（測量委託、改良工事、用買ほか）八千二百万円、公園管理費（建物調査積算業務委託ほか）百八万円

小型動力ポンプ二台を購入

▽消防費
四百三十八万円を追加。

主なものは小型動力ポンプ（二台）百七十四万四千円、防火水槽新設工事（一基）二百三十七万円

▽教育費
千八百八万四千円を追加。内訳は小学校整備工事百五十万円、小学校石油ストーブ（南小、西小ほか）四百万円、中学校整備諸工事三百二十万円、公民館費五十五万円、保健体育総務費四千万円、保健体育施設費

六十一万四千円

▽災害復旧費
八千九百三十五万円を追加。主なものは農業用施設災害復旧費（二十一カ所）二千六百三十三万六千円、農地災害復旧費（十四カ所）千四百五十五万九千円、公共土木施設災害復旧費。

▽諸支出金
九百六十四万五千円の追加で宅地開発事業特別会計繰出金。

〔歳入〕

▽分担金及び負担金
百七十八万八千円の追加で災害復旧費分担金（農業用施設、農地）。

▽使用料及び手数料
百万円の追加で湯ノ岱温泉使用料。

▽国庫支出金
四千八百三十五万三千円を追加。内訳は公共土木施設災害復旧事業負担金三千三百五十六万六千円、地方道路整備臨時交付金千四百九十二万円、農用地開発調査計画事業委託金三十万円。

▽県支出金
二千七百七十五万四千円を追加。内訳は林道改良事業補助金八十万円、地域農政推進対策事業費補助金百五十万円、サテライト計画策定補助金二十万四千円、農林災害復旧費補助金二千七百七十四万七千円、道路交通調査委託金二十二万八千円を追加、汚染米発生防止対策費補助金四十九万二千円、地域農業集団育成事業費補助金百四十万四千円を減額。

▽繰入金Ⅱ宅地開発事業特別会計繰入金三十五万五千円を減額。
▽繰越金Ⅱ四千六百二十四万四千円を追加。
▽町債Ⅱ一億九百九十万円を

59年度水道事業決算を認定

利益は一八七四万七千円に

▽五十九年度水道事業会計決算の認定について

水道事業会計決算は、六月定例町議会に上程され、建設水道常任委員会に付託、審議されておりましたが、本会議で認定となりましたので、決算の概要について報告します。

内容をみると業務量は、給水件数が昨年より百二十八件の増で二千九百六十二件、給水量は四万四千二百二十八立方メートル上廻って八十七万二千四百八立方メートルとなりました。

経理では、事業収益決算額一億千二百二十五万四千円、事業決算額九千二百六十四万四千円で、当年度純利益千八百六十四万七千円をあげ、未処分利益剰余金千八百七十万円となりました。

資本的収支では、収入が百五十九万六千円、支出は四千五百八十六万三千円、不足する額四千四百二十六万七千円は、過年度損益勘定内部留保資金三千七百七十九万五千円と減債積立金

追加。内訳は辺地対策事業債九千二百二十万円、農林水産業施設災害復旧事業債千二百二十万円、公共土木施設災害復旧事業債千六百五十万円。

千二百四十七万二千円を補てんし万全を期しました。また、たな卸資産は九百七十七万五千円となっておりま。

水道建設事業債(企業債)は、昭和四十六年度から四十八年までの三カ年で三億八千二百万円を発行し、当年度千二百四十七万二千円を償還し、累計償還高が八千七百七十六万六千円となり、期末残高は二億九千四百二十三万四千円となっております。

水道事業会計補正予算

収益的収入は九十万七千円を追加し一億七百八十九万三千円に、支出は二百六十二万二千円を追加し九百九百三十四万円になります。

資本的収支は九十九万四千円を追加し百四十一万五千円に、支出は百九十五万九千円を追加し四千五百四十八万五千円となり、不足額は過年度損益内部留保資金三千百十九万四千円と減債積立金千二百八十七万六千円で補てんするものです。

決定した特別会計

簡易水道会計補正予算
歳入歳出にそれぞれ八百二十一万円を追加し、総額八千六百

四十四万四千円とする。
歳入の主なもの、水道使用料三百七十七万八千円、メーター使用料七十六万三千円、繰越金三百七十七万五千円。

歳出は、原水及び浄水費(諸修理)四十五万円、配水及び給水費(向黒沢簡水配水管移設工事等)、総係費(職員一人増員)百五十七万六千円、設備費(量水器)五十八万六千円、建設事業費(小田緊急用連絡管敷設工事)四百五十万円

▽宅地開発事業会計補正予算
歳入歳出に九百六十四万五千円を追加。内容は七日市・松沢線(農協前・基幹センター間)の道路用地と残地を造成し、高度利用をはかるための用地取得。

決定した議案

▽工事請負変更契約締結
普通林道開設工事(立又線)の契約額を工法変更により百三十一万五千円を増額するもの。

▽町道路線の認定について
摩当糠沢線(終点を向黒沢に)昭和合地線、糠沢上台線(終点を上台に)

▽町道路線の廃止について
摩当糠沢線、糠沢上台線はいずれも終点変更により一部廃止。

継続となった議案

▽鷹巣町の議会運営に妥当な議員定数の調査

採択となった請願

▽国家機密法制定反対の意見書採択についての陳情(秋田市山王六丁目)自由法曹団秋田県支

選挙人名簿定時登録者数

(60. 9. 2 現在)

投票区	男	女	計
鷹巣第1	939	1,094	2,033
鷹巣第2	936	1,145	2,081
鷹巣第3	926	1,093	2,019
南鷹巣	777	886	1,663
摩当	280	296	576
太田	193	200	393
掛泥	393	428	821
綴子	738	832	1,570
田子ヶ沢	104	110	214
岩谷	45	45	90
糠沢	371	387	758
田中	394	423	817
坊沢	583	661	1,244
緑ヶ丘	146	160	306
黒沢	34	38	72
今泉	218	251	469
前山	209	233	442
坊山	88	83	171
小森	215	233	448
沢口	242	262	504
川口	134	137	271
七日市	545	581	1,126
葛黒	140	149	289
竜森	109	107	216
明利又	45	48	93
合計	8,804	9,882	18,686

部長・金野繁

市町村児童館・母親クラブの現行補助金の継続と増額についての陳情（秋田市山王中島町、秋田県児童館連絡協議会長・安達与一）

農業用水からの流水占用料徴収反対に関する要請（町内六農協組合長代表・長岐洋一ほか）
良質米奨励金の現行確保に関する要請（町内六農協組合長代表・長岐洋一）

算査
59 継続

町税は七千万円余りの増収

五十九年度一般会計および国民健康保険特別会計、各財産区特別会計など十三会計の決算認定は、例年どおり決算特別委員会を構成して、審査することになりました。

審査中の十三会計はいずれも黒字で決算、十三会計の収入合計は七十一億三千八百四十九万六千円、支出合計は六十七億三千七百五十六万七千円で、差し引き四億九十二万九千円の黒字となっています。

このうち一般会計は、歳入総額四十八億七千五百九十九万三千円、歳出総額四十六億四千五百七十五万六千円で、差し引き二億三千二百三十七万七千円の繰越となっています。

決定した意見書

市町村児童館・母親クラブの現行補助金の継続と増額についての意見書

国保財政の危機打開に関する意見書

河川流水占用料徴収反対に関する意見書

良質米奨励金の現行確保に関する意見書

予算執行状況では、予算に対し収入済額が一億四千六百三十四万二千円の収入増となっています。

主なものは、町税七千万二千円、地方交付税四千九百三十九万六千円、自動車取得税交付金六百六十六万九千円、地方譲与税六百四十万九千円、使用料

及び手数料五百六十六万九千円、諸収入五百六十六万九千円、金庫支出金百八十三万五千円、国庫支出金交付金百二十七万四千円などが収入増。県支出金八十六万六千円、財産収入三十万九千円などが収入減となっています。

一方歳出では、予算額四十七億二千九百六十五万五千円に対し、執行率九八・二三％で八千三百八十九万四千円余りの不用額が生じております。

また国民健康保険特別会計は、歳入総額十億七千八百四十九万八千円、歳出総額十億五千三百四十九万五千円で、差し引き二千五百三十三万三千円の繰越しとなっています。

なお、決算特別委員会の構成メンバーは次のとおりです。

委員長 渡辺茂雄 副委員長 久留島清吉 委員 佐藤昭二郎、佐藤勝美、武田佐一郎、小塚嘉七、藤島絹蔵、今川清太郎

稲わら等の屋外燃焼行為禁止期間

10月1日～11月10日

秋の収穫期をむかえましたが、稲わらを焼くと、目やノドを痛めたり、交通事故のもとにもなります。また秋田県公害防止条例で禁止されていますので、稲わらは土に還元して地力増強に役立てましょう。

大野台ゴルフ開場十周年記念。十年の年月を経て、環境も整備され記念コンペが華やかに行われた。

老人クラブ連合会、交通安全部会ゲートボール大会。明日から秋の交通安全運動を控え、何れもルールがあり、これを忠実に守ることが、楽しいゲームや事故防止になると強調した。

秋の交通安全運動初日に際し、交通事故絶滅を期し、合同査閲、交通安全



町長日誌

出川禮一

9月16日～30日

全パレードが行われた。今回は特にシートベルト着用を訴えた。

岩手県大迫町のワインまつりに参加。村おこし運動の一環として、大迫町では可成以前より、地形を活かした、ブドウ栽培の奨励とワインの生産、販売（第三セクター）に力を入れている。

この消費拡大として、毎年行われている。

陣場岱開田二十五周年記念式典。米が過剰傾向の時期、英断をもって米

代川から揚水による開田は、多くの難儀を乗り越え、今見事な美田となった。農免道路、一〇五号バイパス等の貫通で、陣場岱は新たな視点に立ちつつある。

全国道路利用者会議理事會が、東京で開催され出席した。

鷹巣町ふるさと会東京交流会。本町出身者を対象に、昨年よりふるさとの味と香りを、農産物に託して発送を始めた。その方

々の声の反映を求め會合を持った。予想以上に多くの方々が参加して下さり、鷹巣金結成等が出された。今後、より幅広い内容の交流を進めたい。

南鷹巣発足三十年記念祝賀會。この地は発祥以来、町営住宅団地等町と深い係わりがあり、道路や街灯、集會所など相次いで整備され、生活環境が大変良くなった。また、記念誌により詳細な足跡が偲ばれた。より一層の融和と発展を祈るとあいさつした。

合併三十周年記念にふさわしく、ことしで三十回目をむかえた婦人家庭バレーボール大会は、九月二十二日鷹巣体育館で行われ、Aブロックは堂ヶ岱、Bブロックは藤株の沢口勢が優勝を飾りました。

大会には、町内から十四チームが参加。A、Bブロックで予選リーグ、決勝トーナメントが行われました。

会場には、仲間の婦人会員やだんなさん、子供たちが多数応援にかけつけ、スタンドからは



婦人家庭バレーボール大会 堂ヶ岱・藤株が優勝

得点するごとに声援と拍手が送られ、決勝までは五試合を消化するというハードスケジュールにもかかわらず、選手はコート狭ましと動き回り、実力拍仲の好プレーを展開していました。

優勝した堂ヶ岱と藤株、それに第三位代表決定戦で勝った岩脇は、十一月下旬か十二月上旬に鷹巣体育館で行われる、鷹巣阿仁部家庭バレーボール大会に、鷹巣町を代表して出場することになりました。

大会の結果は次のとおりです。
（Aブロック）

▽予選リーグ＝堂ヶ岱2―0七



岩脇2―0舟場

▽決勝＝藤株2―0岩脇
（第三位代表決定戦）

岩脇2―0舟場

▽準決勝＝岩脇2―1綴子A
藤株2―0七座A

▽決勝＝藤株2―0岩脇
（第三位代表決定戦）

岩脇2―0舟場

▽予選リーグ＝綴子A2―0鷹

巣A 七座A2―1緑ヶ丘 藤

株2―1岩脇 岩脇2―0栄B

七座A2―0鷹巣A 綴子A2

―0緑ヶ丘 緑ヶ丘2―0鷹巣

A 綴子A2―0七座A 藤株

2―0栄B

▽準決勝＝岩脇2―1綴子A

藤株2―0七座A

▽決勝＝藤株2―0岩脇

（第三位代表決定戦）

岩脇2―0舟場

▽予選リーグ＝綴子A2―0鷹

巣A 七座A2―1緑ヶ丘 藤

株2―1岩脇 岩脇2―0栄B

七座A2―0鷹巣A 綴子A2

―0緑ヶ丘 緑ヶ丘2―0鷹巣

A 綴子A2―0七座A 藤株

2―0栄B

夜間当番医（夜間診療）の日程表

（午後6時30分～9時）

10月	曜日	医療機関名
16	水	戸嶋医院
17	木	戸嶋産婦人科医院
18	金	近藤医院
19	土	北秋中央病院
20	日	奈良医院
21	月	佐藤外科消化器科医院
22	火	藤原医院
23	水	佐々木産婦人科医院
24	木	鷹巣病院
25	金	盛岡外科医院
26	土	戸嶋医院
27	日	戸嶋産婦人科医院
28	月	近藤医院
29	火	北秋中央病院
30	水	奈良医院
31	木	佐藤外科消化器科医院

秋の清掃指導日程表

実施		実施地区	
月日	曜日	鷹巣地区	その他地区
10月22日	火	元町・大町・米代町	七座・坊沢地区全域
10月23日	水	住吉町・材木町・花園町	綴子地区全域
10月24日	木	東横町・宮前町・伊勢町	沢口地区全域
10月25日	金	松葉町	七日市地区全域
10月28日	月	旭町・南鷹巣・西陣場岱 幸町・内幸町・西上綱 舟見町・新舟見町	栄（あけぼの町含む）地区全域

清掃重点事項

- 家屋内外の清掃
- 地域の側溝の清掃
- 家畜飼育農家は堆肥場周囲及び畜舎等内外の清掃

鷹美阿仁広域圏

日中友好青年交流

①

国際青年年のことし、鷹美阿仁広域圏の町村では、国際的な視野にたった中核指導者を養成するため、九月二十九日から十月八日までの十日間、「日中友好青年交流団（団長・近藤富治郎森吉町長 団員二十七人）」を中国に派遣しました。当町からは行政、議会から四人と町連合青年会役員ら八人が参加し、研修と交流、国際親善に重責を果たしてきましたので、今回（行政）と次回（青年）広報で報告いたします。

四つの近代化に向けて全力を傾注

今回の研修は、歴史的にもかかわりが多く、また宗教、文化、生活習慣などの影響を受けてい

る隣国中国の、広大な国土と豊かな人間性に接し、広い視野にたつて、次代を担う青年が地域



▲左から成田、佐藤、藤島の各氏（万里の長城の最西端・嘉峪関前で）

を見直し、将来を展望しようというねらいから、広域圏組合で中国派遣を決定したものでした。また、時を同じくして、秋田県・甘肅省、秋田市・蘭州市友好提携三周年記念ということから、友好交流団の一行七十三人が訪中ということから、私たちは、幸運にも秋田空港から中国民航のチャーター機で、上海へ直行することができました。

古来の日本の風習

は中国から伝来

私たちが上海経由で首都北京に着いたのは、九月二十九日の午後六時過ぎ。荷物を受けとってバスに乗ったのが八時近くであつた。ホテルに向う八十をバスに乗ること一時間十分余りでしたが、窓の外では中秋の名月が闇夜を輝らし、異国で初めて見る名月は一きわ大きく感じられ、雨模様様の秋田空港を後にした一行は「子供たちも今晩は月を拝めないだろうな」と、早くも望郷の念。

中秋の名月とは、中国から伝

来してきた行事で、豊作物の収穫を感謝しながら月見をするという風流な習わしであり、「中秋節」といって、遠くで働いている者も家に帰り、家族そろって、月餅や果物を供えていただくのだそう、まったく日本の風習と変わりません。

また北京の近郊農村では、ラバやロバに引かれた荷馬車で乾燥草や野菜を運んだり、鋤を引いて畑を耕起するなど一昔前の日本農業に似通うところがあり、懐かしく作業風景を眺めたものでした。

家族愛、人間愛の

育くみに感動す

中国人のほとんどは自転車（自行車という）で通勤、通学しており、朝のラッシュ時などはバス（公共汽車）やトロリーバスも危なっかしい感じがする。しかし、国情の違いで車両が優先ということから、クラクションを鳴らすと、車道、歩道の別なく歩いている自転車も人も、道端に寄ってしまい、日本のように車が来ても、悠々と横断歩道



▲二連バスと通勤風景

を渡るといふことはほとんどありません。

北京といえども信号機の数が少ないのと、夜でも電灯をつけないので、心配性の一行は「交通事故はないんでしょうか」とたずねると、「たまにあります」と軽い返事でした。

また、自転車で私たちが心を打たれたのは、共稼ぎの多い中国では、夫が運転する自転車の後に妻が、前には子供が乗って朝出勤するという、ほほえましい光景が目につき、日本のように夫と妻が方向が同じでも別々に出勤するという現在、失われゆく家族愛、人間愛が恵まれな

い経済環境のなかで大事に育まれており、心の豊かさをかいま見た感じがしました。

砂漠のオアシス で農産物を生産

中国では、南の上海、広州、桂林などは雨量も多く、農作物も三毛作で収量も多いようですが、私たちが訪れた、北京、蘭州、酒泉、敦煌、西安は雨量が少なく、農地は礫まじりの硬い土で三馬引きのラバで耕起するなど難儀しているようでした。ほとんどが、コウリヤン、小麦



綿花をつむ夫婦（敦煌）

トウモロコシなどで、ネギ、トマト、キャベツなどもわずかながら目につきました。

万里の長城の最西端の砦である「嘉峪関」のある酒泉や、紀元三百年から約千年の間に四百九十二の石窟が掘られ、二千体の塑像が安置されているシルクロードの要路であった敦煌は、戈壁砂漠のなかにあり、酒泉、敦煌間の四百五十キロは、バスで八時間近くもかかり、見わたすかぎりの地平線に、地球が丸いということを感じさせられました。

年間降雪量三十センチという酒泉や敦煌、途中の村々は五千級級のキレン山脈の万年雪で潤うオアシス都市で、雪解水を砂漠に引き込み五、十萬都市を形成しており、私たちの訪れた十月三日から五日までは、農家で小麦や綿花の収穫に忙がしく、子供たちも一生懸命手伝っていました。

また、メロンやナシ、スイカ、リンゴ、ナツメなどの果物は、乾いたノドに適度に水分を補給してくれ、味も格別で、日本の果物とはくらべものにならないものでした。

歴史の重厚さを 感じさせられた

中国の国家の形成は、約四千年も前のことである。秦の始皇帝が全土を統一した紀元前二百二十一年以後、当時の都「長安」現在の西安には、始皇帝陵や兵马俑などを自から築いている。また、月からも見えるという万里の長城の建設にも取り組んでいる。日本でいえば縄文晩期で、集落形成や農業が定着したところであるだけに、歴史の深みに魅せられた。また、秦時代以降はシルクロードの東西交易が盛んになり、西安はローマと並ぶ世界的な大都市であった。そして日本の平城京（奈良）、平安京（京都）の手本ともなったところでもあり、仏教の伝来にも係りのある都市でもありました。

少数民族の保護 にも積極的だった

中国は、漢民族が全体の九四％を占めています。ほかに少数民族五十四もあるそうです。代表的なものはチベット族、モンゴル族、ウイグル族、回族などですが、秋田県と友好提携を結んでいる甘肅省も、少数民族の多い地域であった。私たちが

訪れた十月二日は、蘭州市内の軍区体育館に三千人の市内を集めて、歌舞団や民族踏団の踊りや楽器演奏を二時間にわたって披露してくれましたが、モンゴル族やチベット族、ユウコ族など少数民族の伝統芸能が、大事に伝承保護されていることが一目でわかりました。

また十月六日には

敦煌で鷹果阿仁部の青年と地元青年の交流会が開かれましたが、それぞれ民族の伝統を継承しているようでした。

底知れぬエネルギー に素直に反省を

中国の国土は日本の二十五倍、人口は約十億で八倍以上である。しかし、国土の大半が生産性の乏しい土質ということもあり、食糧生産に限りがあることから、晩婚を進め、子供は一人を生んで丈夫に育てようということとした。

人口抑制は全世界の願いでもありますが、いずれにしても中国は、国情にあった政策が推進されており、とくに四つの近代



6000キロの万里の長城

化を目指して、農業、化学、工業、技術の向上に全力を傾注しているようでした。

また、中国の青年たちは寸暇を惜んで勉強しており、日本の物質的な豊かさを認めながらも、決してうらやましがることなく、「私たちの未来には可能性がある」と、広く豊かな人間性で国家を支えようとする若いエネルギーに、私たちも反省をし素直に学ぶべき点が多くあるような気がしました。

■収入役……………成田多千雄
■広域事務局長……………佐藤 勘重
■広報係長……………藤嶋 健一

福祉年金（老齢・障害） 証書交付のおしらせ

昭和60年度福祉年金証書を次により交付します。受領には、本人または家族の方がおいでください。

▶持参するもの

- ① 印鑑（証書に登録しているもの）
- ② 証書保管証

交付月日	交付時間	交付場所	交付対象地区
10月24日 (水)	9. 00 ～11. 30	坊 沢 公 民 館	坊沢、黒沢、前山
	13. 00 ～15. 00	今泉生活 改善セン ター	今泉
10月25日 (金)	9. 00 ～11. 30	鷹巣中央 公 民 館	田中、新田中、 掛泥、高野尻、 南鷹巣、舟場、 堂ヶ岱、高村岱、 川口、湯車、小 ヶ田、緑ヶ丘、 蟹沢、佐助岱
	13. 00 ～16. 00	鷹巣中央 公 民 館	鷹巣地区
10月28日 (月)	9. 00 ～11. 30	三ノ渡 児 童 館	明利又、松沢、 黒森、三ノ渡、 与助岱、上舟木
	13. 00 ～16. 00	沢口林業 センター	沢口地区（小摩 当含む）
10月29日 (火)	9. 00 ～11. 30	基幹集落 センター	七日市地区
	13. 00 ～16. 00	栄 農 協	栄地区
10月30日 (水)	9. 00 ～11. 30	綴子基幹 集落セン ター	綴子地区
10月31日 ～11月8日	9. 00 ～17. 00	役 場 年 金 係	上記の会場で受 領できない方

サラリーマンの
奥さんは届出を
年金法の改正に伴い、厚生年
金加入者の妻または夫で加入者
により扶養されている方は、六
十一年四月から第三号被保険者
として国民年金に強制加入とな
り、将来自分名義の年金が受け
られるようになります（納付は
不要です）。

くらしと 年 金



この資格を確認するため、該
当者は、資格を証する書面（社
会保険証、事業主の証明など）
を添えて役場町民課年金係まで
届出することが必要となります。
現在国民年金に任意加入して
いる方には、十月下旬に社会保
険庁から届出用紙が送付されま
すので、必要事項を記載し、書
類を添えて提出してください。
現在国民年金に加入していな
い方も同様です。用紙は窓口に
用意してありますので、書類を
持参のうえ手続きしてください。
届出の受付は十一月一日から
です。

保 険 料 は 納 期 限 内 に

国民年金保険料の納め忘れは
ありませんか。未納期間が続く
と、年をとってからの受給額に
影響するのはもちろんのこと、
万一の病氣や事故の時に障害年
金、母子年金が受けられなくな
ることがあります。
保険料は毎月確実に納付して
下さい。

未支給年金は 遺 族 が 請 求 を

年金を受けている方が死亡し
た時は、死亡届の手続をすると
同時に、未支給年金の請求をす
ることができます。
請求できるのは、死亡した受
給者と生計を同じくしていた配
偶者、子、孫、父母、祖父母ま
たは兄弟姉妹です。
死亡して六ヶ月を過ぎると、
時効により請求ができなくなり
ます。
手続は年金証書を添えて役場
年金係まで。

三千五百人が参加して ふるさとの汚れを一掃



恵まれた自然と美しいふる
さとを守ろうと「クリーンふ
るさとデー」が、九月十五日
午前六時から全町で一斉に実
施されました。
集落ごとに場所を設定して
作業を進めましたが、各家庭
から持ちよった肥料袋を片手
に、朝モヤをついて空カン、
ゴミを拾い集めるグループや、
道路まで生い茂っている雑草
を草刈機で刈り取っている町



内。また神社や集会所、フラ
ワーボックスの草取りなどを
行い、早朝の一時間にわたり
クリーンアップが行われ、そ
れぞれ心地よい汗を流してい
ました。
今回のふるさとデーには、
町内や集落、子供会、青年会、
婦人会、老人クラブなど、約
三千五百人余りが参加。三十
トン余りのゴミを一掃してお
りました。

九月二十一日から三十日までの十日間にわたって、秋の全国交通安全運動が展開されましたが、運動の初日、午前七時から警察署員、交通指導隊、交通安全協会役員が、警察署前に整列して合同査閲が行われました。

このあと、交通事故を防止しようと街頭に出て、出勤途中や通学中の児童生徒に黄色い羽根を配って、交通安全を訴えていました。

午後一時からは、児童公園で交通安全全町民集会が開かれ、続いて鷹巣小学校トランペット鼓隊を先頭に自転車の小学生や園児、母の会、老人クラブなどが町内をパレードし、町民こそっての交通事故撲滅を呼びかけていました。

秋の全国交通安全運動で パレードで事故防止を



鷹巣バッファローズが 全県おはようを制す

町や地区の予選を勝ちぬいた二十チームによって争われる第十六回全県おはよう野球大会は、九月二十一日から二十三日までの三日間秋田市で開催され、鷹巣バッファローズが初優勝を飾りました。

町からは、八回出場の鳳クラブと二回目の鷹巣バッファローズの二チームが参加しましたが、郡大会優勝が地方を発揮し、決勝で追分三五郎ズを五対一と突きはなして大優勝旗を手にしました。なお、最優秀選手賞には河田久夫投手、殊勲賞は成田伸生遊撃手、技能技賞に村上進中堅手が選ばれました。

なお、優勝したバッファローズは十月十日札幌市で秋田・札幌交歓試合に出場しました。

おしらせ

戦没者等の遺族へ 特別弔慰金が支給

戦没者等の遺族に支給される「特別弔慰金支給法」が改正されましたので、該当する方は手続きをしてください。

▽対象 六十年四月一日現在、遺族年金、扶助料等を受けていない遺族で、子、兄弟姉妹など三親等以内の先順位者一人
▽支給額 死亡者一人に三十万円
▽十年償還国債で毎年六月十五日に三万円を郵便局で支払う
▽請求手続き 用紙は役場福祉係にありますので、印鑑ご持参ください。(六六二一一一一内線一二五)

出稼ぎ者の方へ

互助会に加入を

出稼ぎ者のみなさん、健康で

合併三十周年記念 文化講演会

文化講演会

日時 十月二十二日(火) 午後二時～四時

場所 中央公民館ホール

講師 NHK解説委員 永井多恵子女史

演題 「くらしの経済セミナー」 よもやま話

停電のおしらせ

十月の作業停電は、次の地区です。

▽18日 糠沢、合地、大畑、二本杉、岩谷、西又(午前九時から午後〇時半)

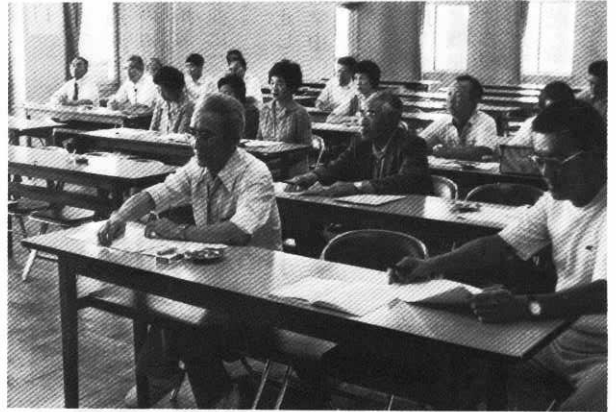
安全な出稼ぎができるように、公共職業安定所の紹介を受けて就労先をきめてください。また、秋田県出稼ぎ互助会に加入し、出稼ぎ労働者手帳や、健康診断を受けてからお出かけください。出稼ぎ相談委員は次の方々です。お気軽にご相談してください。

▽永井清(七座、坊沢地区)
▽伊藤勇治(鷹巣・栄地区)
▽佐藤勘一(綴子地区) ▼泉秀雄(沢口地区) ▼畠山誠一(七日市地区)

くわしいことについては、役場商工観光課(六六二一一一一)へお問合せください。

町体は多くの参加者で 楽しい交流の場に

町民体育祭の反省会で



こととして二十三回目の町民体育祭は、台風十三号の影響を受けながらも、町村合併三十周年記念事業として、芸能フェスティバルとともに、九月一日に盛大に開催されました。

教育委員会では、町民体育祭を継続的に発展させるため、九月十一日午後三時から反省会を開催。地区公民館職員や体育指導委員、青婦人会、体育協会など三十人余りが出席して、熱心な意見がかわされました。

出された反省点として
▽組織的な人集めが大変だ▽勝負にこだわらず、勝つ見込みがないと不参加の場合が多い▽鷹巣地区は商業活動には積極

的だが町体の参加は少ない▽職場や地域の行事が多すぎる▽事前のPRがたりない▽種目に変化がない▽団体種目の人数が多すぎる▽大会役員の出席が悪い▽青年の参加が少ないなど、それぞれから率直な意見が出されました。

さらに、今後の町民体育祭に望むこととして
▽走れない人も参加できる競歩があってもよい▽バスケットボール、ラグビーボール投げなどはどうか▽もっと早い時期の開催はどうか▽個人走の選手権的なものは除く▽フイルド種目を多くしてほしい▽家族で参加できるものはないか▽開会式の参

加者にも得点すべき▽仮装大会や屋台などがあると面白いなどユニークな発想も出るなど、町民体育祭が、町民全体のものになるよう建設的な意見が多く出されました。

また、町民体育祭が原点にかえて、町民の親睦、連帯を深め、明るい町づくりに役立つ交流の場にするためには、行政主導から町民主体の体育祭になるべきだという声が多く出されていました。

さらに、これまでの七地区対抗の良い点、問題点も出されましたが、今後は集落単位に近い二十四から三十チーム編成にして、集落自治のなかに町民体育祭を位置づけしてはどうかなど、ユニークな意見も出されました。

ことは、町村合併三十年という節目にあたることと、これまでも最善の方法で町民体育祭を運営してきましたが、今回の反省会で出された貴重な意見を、ぜひ反映させてほしいという要望が強く、大幅な見直しを求められています。

このため、教育委員会では早速に原案を作成し、各種会議で検討を深めながら、早い時期に多くの町民が参加し、楽しく盛りあがりのあるスポーツ交流の場づくりの、方向を打ち出すことにしております。

ふるさと 人物伝 92

いわや ゆう 八

一八九九 — 一九五九

綴子村最後の村長岩谷勇八は、親分肌の村民思いの大政治家であつたという人もあれば、一方、直情径行的な言動について批判される場合も少くなかつた。とにかく波乱万丈の人物で、それだけに足跡も残している。

勇八は明治三十二年、綴子宇田町・岩谷子之助の長男として生まれる。郡立七日市農林学校に入学、鷹巣に移って卒業、日大専門部に進み、卒業後は北海道の林業関係に務める。後、満洲（現中国東北部）に渡り、満洲国の高級官吏になる。また、炭坑の社長



にもなったという。終戦前の昭和十四五年頃帰国。一時大館に居を構えるが、後郷里の綴子に移る。家は下町の「清八の家」といわれている。

やがて終戦を迎えると、当時新しく組織された農民組合をバックに村長選に出馬して当選、昭和二十二年四月就任する。

長らく外地のメシを食ってきた彼は、精力的に才能を発揮するが、いわゆる天衣無縫の政策を進めようとして、よく「この木っ端役人！」と果職員などを怒鳴りつけたりもした。配給米の横流し事件が発端となつてリコール運動に発展、次期選挙では山内清一郎に敗れる。

昭和三十年五月、再び当選するが、翌三十一年九月、鷹巣に合併する。彼の首長としての大きな仕事は、曲りくねった田中から本郷までの道路を直線道路にしたこと。診療所、公民館の建築など、地区のために残した。合併後は陣場岱開田調査室長として成果をあげる。

昭和三十四年七月没（佐藤与治兵衛、高橋七郎、堀内由蔵氏談）文責 長崎 久



一人暮らしに“福祉弁当”を

鷹巣地区民生児童委員会の婦人部では、一人暮らしや老人世帯に“福祉弁当”をプレゼントして喜ばれていました。在宅福祉サービス事業の一環として3年前から試験的に実施してきましたが、9月19日は対象者250人の半分にあたる120食を調理したもので、委員8人は公民館調理室でまぜご飯弁当を作り、あったかい弁当を各家庭にくばって感謝されていました。

（取材：鷹巣地区民生児童委員会 婦人部）

鷹巣スキーレーシングスポーツ少年団では、シーズンを前にスキーの基礎学習を深めようと、札幌五輪選手で現在全日本のヘッドコーチを務める富井澄博氏を迎えて、9月14、15の両日スキー教室を開設しました。講演や実技指導を行ったが、夏から秋にかけての基礎体力の強化が求められるスポーツだけに、団員のほかに、高校生も参加し、熱心に耳を傾けていました。

本番前に基礎体力の強化を



昔をしのび南中で土器づくり

郷土の“藤株遺跡”に学び昔の人の生活を考えよう…というテーマで南中学校では、3年前から縄文式土器の複製にとりくんできました。8月9日に粘土をこねあげ、全校生徒が製作したものを、ゆっくり陰干して、9月20日に校庭で野焼きしました。野焼きは指導にあたった地代登氏の指示でマキを燃やして5時間あまり。縄文土器の仕上がりに大喜びしていました。

（取材：南中学校）



大館職安鷹巣出張所の秋冬季出稼ぎ合同選考会は、10月3日公民館分館で行いました。選考会には、出稼

ぎを希望する農家の人たちが詰めかけ、137人の方が参加。今回は中央で景気回復がみられることから、建設業、製造業、サービス業など、東京、神奈川、愛知、ほか25社が訪ずれた。就労を希望する人たちは、働きやすい職場を求め真剣な表情で相談していました。

真剣な表情で出稼ぎ相談



の広場



南小学校一年
くしま へいきくん



くしまい

鷹巣町に酪農が普及された昭和二十年代に乳牛を飼育し、一時期牛乳の製造を手がけた関係から、現在でも牛乳は水がわりに飲んでいます。

若い時から、農作業に従事し重労働に耐えてきたので、体には自信があり、ことしも暖房用の薪一棚を切りました。



今 泉 隆内 甚太郎 (91)

常に頭を使うように

親の意見・子供の意見 『私の健康法』

日課は、朝六時から七時までの間に目を覚まし、ニワトリに餌をやり、七座健康増進センターまで散歩して、そこで自己流ではあるがラジオ体操をやっています。

午前中は、新聞に目を通す時間を多くして、常に頭を使うようにしています。また七十二年連れ添った妻・セツ(88)も健在で、二人で語り合うのも楽しいの一つです。

最近では、時代の移り変わりが激しいものの、テレビの政治座談会やニュースには特に目を通すようにしているが、夜は七時過ぎに床につくようにしています。



ツタウルシ

ハゼノキ科

山地に生える落葉木質のつる植物。茎から気根を出してはいのぼる。秋の紅葉は特に美しい。うるしかぶれは、ヤマウルシより強いと言われている。女性は特に用心すること。

南小学校 島山 益穂先生



家族一同で試食した時のおいしさは、今でも忘れられない思い出です。

十六年振りに帰省した時、少年時代遊び歩いた所のほとんどが開発され、道路や民家も立派になり、あの広い田んぼも改良され、町の景色にも年月の流れを感じさせられました。

昔から伝えられている郷土の自然、伝統を是非とも残してほしいものです。

▽坊沢大町の長崎源三郎さんの弟です。

忘れられないマイタケの味

神奈川県小田原市 長崎元八郎 (59)

私は三十数年前に上京し、色々都会での暮らしに慣れる迄は、大変苦労しました。

しかし、東北人のネバリ強さと、少年時代を過ごした故郷での百姓仕事の手伝いが、苦勞を支えてくれました。

時計店に職人として五年間勤めて独立し、店舗兼住宅を新築、長崎時計店を営営してから二十五年にもなります。小田原市は、気候も良く暮しやすい静かな城下町です。

田舎育ちの私には、いつも少年時代のことが思い出されます。野山が好きで一番の楽しみはキノコ採り、今でも脳裏に浮かんでいますが、裏山で大きく見ごとなマイタケを採った時の嬉しかったこと、家族一同で試食した時のおいしさは、今でも忘れられない思い出です。





南小学校一年
しまうち まきこさん

みんな

食事は、おかゆ、パンと野菜を多く取るようにしており、酒は少量でタバコはこれまで吸ったことがありません。

朝起きテニスを毎日



材木町
沢田 修一 (67)

何か一つの趣味をもち、これを作り続けていくことは、人生にとって非常にプラスになるものだと思います。

昭和四十四年五月初起きテニス教室が開講されて以来、続けているテニスは、自分の体力と年代に合せられる適当なスポーツであり、生涯の趣味と健康の

広報のしおり

庶民の食卓からは縁

遠くなってしまったマツタケですが、いったい今、どのくらい採れているのでしょうか。

林野庁の調べでは、昨年の国内生産高は約百八十トン。国民一人当たりになると、一・五グラムという微量です。

これに対し、輸入高は千八百二トン。韓国、北朝鮮、カナダ

ために続けてゆきたいと思っております。

毎年五月から十月初旬まで毎日やっております。十四、五年前から朝五時前に目が覚めますので、寝たままいろいろの健康づくり運動をやり、起床してタワシで全身摩擦をします。顔は軍隊に入隊以来、年中水で洗います。

コートには六時頃到着、一時間程練習をし汗を流して家に帰り、シャワーを浴びるとすっきりして、食事はおいしく爽やかな気分が出社できます。

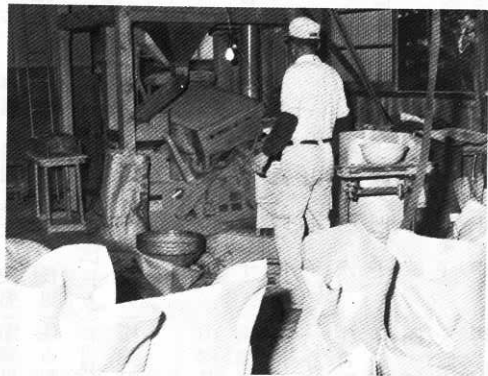
身体の調子は最高によく、仕事にも活力が湧き、快食、快眠、快便、発汗そのものです。もう一つ大切なことは、常にユーモアをもつことも健康法につながることではないでしょうか。

など。日本の店頭に並ぶマツタケの八五％は輸入品ということになります。

今では希少価値の国産マツタケですが、昭和三十年ごろには三千トンも採れていました。こんなに減ってしまったのは、落葉や小枝を拾う人が少なくなったからだといわれます。マツタケ菌はデリケートな菌なので、落ち葉かきや下草刈りなどの手入れを怠ると、他の菌に負けて生えにくくなってしまいうのだそうです。

稲の脱穀を終えると一年分の飯米をシュロに入れてモミで保管し、あとは供出米となりますが、写真の昭和18年頃は各農家に精米機が普及されていなかったため、集落に2~3カ所ある精米所で俵づめしたものです。早朝から夜おそくまでフル稼働の連日でした。

(写真は坊沢・津谷清助氏提供)



たかのすの昔

おしらせ



一線美術会運営委員 九島寮二氏

十月の健康相談

十月の健康相談は、次のとおりです。
成人病健康相談は、二十三日です。

時間は、午前九時半から午後三時まで。血圧測定のほか、尿検査、体重測定など行います。また、午前中は健康教育で、糖尿病予防の日常生活について、午後は健康体操など行います。

一歳六か月児健康診査は、十八日、五十九年二月、三月生まれとなっています。

受付時間は、午後一時から一時三十分まで。

母子手帳、問診票、バスタオルをお持ちください。

フッ素イオンむし歯予防は、十八日です。

受付時間は、午後一時三十分

から三時まで。対象者は満三歳児以上で、おいでの時は母子手帳を忘れずにお持ちください。※場所はいずれも中央公民館保健相談室です。

乳児健康診査は二十四日です。

対象者は六十年五月十六日から十月十五日までに生まれたお子さんです。

受付時間は、午後一時から一時三十分まで。

離乳食指導と七か月児健康相談は、二十四日です。

対象は六十年二月十六日から三月十五日までに生まれたお子さんです。

受付時間は、午前九時三十分から十時まで。おいでの時は母子手帳とバスタオルを忘れずにお持ちください。

つこうで受診できない場合は次回に受診してください。※場所はいずれも鷹巣保健所で

行ないます。

三種混合ワクチン予接種

生後二十四月から四十八ヵ月までの出生者を対象に、ジフテリア、百日ぜき、破傷風の三種混合ワクチンの予接種を行います。

接種日は、鷹巣地区以外の方は二十日、鷹巣地区の方は二十五日に行います。

受付時間は、午後一時から二時三十分まで。場所は中央公民館ホールで行ないます。おいでの方は必ず母子手帳を持参ください。

保健婦による育児相談も行っております。

県民手帳の予約

六十一年用の「秋田県民手帳」の予約を受けています。

主な内容は、日記、資料、名簿、便覧の四編からなるビニール装頓の手帳で三百円です。申し込みは、十月末日まで役場企画財政課指政係へ。

善意

鷹巣町連合青年会（会長・亀山明）から、芸能フェスティバルチャリティバザー収益金

香典返し

八万円を、アジア、アフリカ難民救済へと社会福祉協議会へ寄付金がありました。ご芳志に深く感謝いたします。

- このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。
- ご芳志に深く感謝いたします。
- ご芳志に深く感謝いたします。
- △芳志に深く感謝いたします。
- △今泉＝長崎キミさんから亡夫由太郎さんの香典返し
- △あけぼの町＝成田健三さんから亡母マツエさんの香典返し
- △新田中＝三沢正悦さんから亡祖母テルさんの香典返し
- △小摩当＝本城谷多吉郎さんから亡父多七さんの香典返し
- △黒沢＝藤田弘子さんから亡夫正志さんの香典返し
- △元町＝畠山忠彦さんから亡父忠雄さんの香典返し
- △脇神＝畠山勇二さんから亡父国松さんの香典返し

慶弔だより

9月16日～9月30日

- 誕生おめでとうございます
- 高清水信敬（正治 長男）あけぼの
- 奈良田雅士（秋雄 二男）前野
- 岩本 幸子（幸夫 二女）岩脇
- 麓 千里（耕平 二女）旭町

おくりやみ申しあげます														
長崎	佐市郎	(64歳)	大野	尻	平泉	邦雄	(65歳)	相善	町					
藤田	正志	(44歳)	黒	沢	成田	定雄	(68歳)	今	泉					
仲村	ヨシノ	(60歳)	今	泉	本城	谷多七	(78歳)	小摩	当					
佐藤	沙里	(0歳)	黒	森	畠山	忠雄	(52歳)	元	町					
武田	かつ江	(69歳)	今	泉	九嶋	志子	(66歳)	旭	町					
高橋	アサ	(54歳)	材木	町										
■二人の前途を祝福いたします														
佐々	木武	美	山形	県	畠山	政子	南	鷹	巣					
佐藤	政俊	今	泉		大塚	明宏	住	吉	町					
成田	秀敏	四	渡		佐藤	美子	大	館	市					
畠山	正幸	三ノ	渡		中野	洋一	比	内	町					
柳	谷幸	男	大	堤	藤田	睦子	相	善	町					
千	葉	勲	中	屋	敷	柳	裕	子						
中	嶋	裕	子		糠	沢								